

## 授業科目

## 公衆衛生看護活動論I

担当教員名 杉本 洋、宇田 優子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	○

## 授業の概要

本科目では、公衆衛生看護の理念や基礎的理解を踏まえた上で、対象別の公衆衛生看護活動について講義する。具体的には、それぞれのライフステージ別（母子、成人、高齢者）、健康課題別（難病、感染症、歯科保健など）の保健活動の対象と活動の実際についてを講義する。公衆衛生看護活動の理解を深めるために、現代的な身近なトピックに随時触れ、学生からの質問等に随時答えながら授業を進めていく。

## 授業の目的

ライフステージ（母子、成人、高齢者）、健康課題別（難病、感染症、歯科保健など）の保健活動の対象と実際の理解を深め、現代求められている公衆衛生看護活動について考察できる。

## 学習目標

1. 公衆衛生看護の理念や提供体制の理解を踏まえて、ライフステージ別、健康課題別の公衆衛生看護活動を考えることができる。
2. ライフステージ別の保健活動の対象特性と実際について理解する。
3. 健康課題別の保健活動の対象特性と実際について理解する。
4. 公衆衛生看護上重視される現代的な課題とその対策について考察することができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	授業の概要説明および公衆衛生看護の理念や公衆衛生看護提供体制についての確認を行う。そして、母子保健活動の対象となる人々の特性を学ぶ。	講義	杉本 洋
2	公衆衛生看護の理念や提供体制の全容を振り返りながら母子保健活動の実際を学ぶ。	講義	杉本 洋
3	成人保健活動の対象となる人々の特性・活動の実際について学び、高齢者保健活動の概要を学ぶ。	講義	杉本 洋
4	高齢者保健活動が提供されるシステム、およびそこで働く保健師の活動を学ぶ。	講義	杉本 洋 他
5	感染症保健活動の対象となる人々、保健活動の実際を学ぶ。	講義	宇田 優子 他
6	精神・障害者保健活動の対象となる人々の特性・保健活動の実際を学ぶ。	講義	杉本 洋
7	歯科保健活動の対象特性保健活動の実際を学ぶ。加えて、ライフステージ別・公衆衛生看護公衆衛生看護活動に対する自らの問題意識・疑問点をまとめ、公衆衛生看護の考察を深める。	講義・個人ワーク	杉本 洋
8	対象別公衆衛生看護活動の全容をまとめるとともに、提示された疑問点に対して応え公衆衛生看護活動の理解を深めるとともに、問題についての対策について考察する。	講義・個人ワーク	杉本 洋

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	公衆衛生看護学	津村智恵子、上野昌江	中央法規	2012年	3,600円+税	
参考書						
その他の資料						

## 評価方法

期末試験 80%程度、課題レポート20%程度にて評価する。

## 履修上の留意点

## オフィスアワー・連絡先

水曜日11から13時  
Email: sugimoto@nuhw.ac.jp